

電動ミシン ZZ3-B541

取扱説明書

●本書を読んでから製品を使用してください●

本書は、なくさないように注意し、いつでも手にとって
見ることができるようにしてください。

brother

はじめに

この度は本機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、この取扱説明書をご覧になって、各機能や正しい使い方を十分にご理解のうえ末永くご愛用ください。
また、お読みになった後は保証書とともにお使いになられる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品に使われている表示や絵文字は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
その表示や意味は次のとおりです。

 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が重傷を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。



特定しない禁止事項



特定しない危険通告



分解してはいけません



感電の危険があります



水に濡らしてはいけません



火災の危険があります



特定しない義務行為



やけどの危険があります



電源プラグを抜いてください

以下のミシンをご使用の場合、下糸のセット方法および下糸の引き出し方は巻末の『下糸のセット』『下糸の引き出し方』をご覧ください。

- ・ テディ 600
- ・ FX-300
- ・ GX-300
- ・ ファミール・300
- ・ センシア 600

この製品を安全にお使いいただくために、以下の事柄を守ってください。

⚠ 警 告	
 	一般家庭用電源AC100Vの電源以外では、絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	以下のようなときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。 火災・感電・故障の恐れがあります。 <ul style="list-style-type: none">・ミシンのそばを離れるとき・ミシンを使用したあと・運転中に停電したとき

⚠ 注 意	
 	延長コードや分岐コンセントを使用したたこ足配線はしないでください。 火災・感電の原因となります。
 	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分をもって抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
 	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめてお近くの販売店またはブラザーのサービスステーションにて修理をお受けください。
	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災の原因となります。
 	直射日光の当たるところや、ストーブやアイロンなどのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は0℃～40℃です。 ミシン内部の温度が上がったり、本体や電源コードの皮膜が溶けて火災・感電の原因となります。

▲ 注 意

 	<p>スプレー製品などをご使用の部屋ではご使用にならないでください。 スプレーへの引火、または火災の原因となります。</p>
 	<p>ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。 バランスがくずれて倒れたり、落下などしてけがをする原因となります。</p>
 	<p>本機の換気用の穴をふさがないでください。 換気用の穴は、必ず壁から30cm以上離してお使いください。また、換気用の穴 やフットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。 火災の原因となります。</p>
  	<p>本機の上に花瓶や水の入った容器を置くなどして、本機に水をこぼさないでください。 万一、内部に水などが入った場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて 販売店またはブラザーのサービスステーションにご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
  	<p>換気用の穴や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。 高圧部に触れて感電の恐れがあります。 万一、異物が入った場合は、使用をやめてお近くの販売店またはブラザーのサービス ステーションにご連絡ください。</p>
	<p>本機は必ずハンドルを持って、持ち運びしてください。他の部分を持つとこわ れたり、すべて落としたりして、けがの原因となります。</p>
	<p>本機には取扱説明書に記載されている正規の部品をご使用ください。 けが・故障の原因となります。</p>
	<p>お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。 火災・感電およびけがの原因となります。 指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理はお近くの販売店またはブラザーの サービスステーションにご依頼ください。</p>
	<p>取扱説明書に記載されている整備を行うときは、必ず電源プラグをコンセント から抜いてください。けがまたは感電の原因となります。</p>
	<p>ランプの交換をするときは、ガラスの部分が冷えてから行ってください。 やけどの原因となります。</p>
	<p>ミシン操作中は、針の動きに十分注意を払ってください。また、針、プーリー、 天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。 けがの原因となります。</p>

⚠ 注 意

	縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。けがの原因となります。
	曲がった針は絶対に使用しないでください。針が折れてけがの原因となります。
	万一、本機を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお近くの販売店またはブラザーのサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 	万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店またはブラザーのサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。
	本機が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息の恐れがあります。
 	お子様の玩具としてご使用にならないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、お子様がけがをしないよう充分注意を払ってください。
	フットコントローラーの上に物を置かないでください。けが、故障の原因となります。
	針の下に指などを入れないでください。ケガをする場合があります。

このミシンは、日本国内向家庭用です。

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

目次

布地と糸と針の選択早見表	2
ぬい方早見表	2
付属品	3
仕様表	3
各部の名称	4

ぬう前の知識

■ 電源コード	5
■ 模様選択ダイヤル	6
■ プーリー	7
■ 送り歯カバー	7
■ 上糸調子ダイヤル	7
■ 押えレバー	7
■ 速度調節	8
■ ぬい目の長さ調節ダイヤル	8
■ 返しぬいレバー	8
■ フリーアームにするには	8

糸の通し方

■ ボビンの下糸巻き	9
■ 下糸のセット	11
■ 上糸のかけ方	12
■ 糸通し装置の使い方	13
■ 手動で下糸を引き出す場合	14

ぬってみましょう

■ 基本操作	15
● 厚地のぬい方	16
● 薄地のぬい方	16
■ 糸調子	17
■ 押えの付け替え方	17
■ 片押えの使い方	18
■ まつりぬい押えの使い方	20
■ 裁ち目かがり押えの使い方	21
■ ボタン穴かがり押えの使い方	22

ミシンを大切に

■ 針の交換	25
■ ランプの交換	26
■ お手入れ	27
■ トラブルチェック	29

布地と糸と針の選択早見表

布地の種類	普通地			薄地			厚地			のびる布地		ほつれやすい布地			ステッチ糸の場合	
	ブロード	タフタ	ギャバジン	ローン	ジョーゼット	ポーラ	デニム	コーデロイ	ツイード	トリエット	ジャージ					
糸種類	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	二用ツット糸		カタン糸	合繊糸	絹糸	合繊糸	絹糸
糸太さ	60 〜 80	60 〜 80	50 〜 80	60 〜 80	60 〜 80	50 〜 80	40 〜 50	50	50			50 〜 80	50 〜 80	50 〜 80	30	30
針太さ	11~14			9~11			14~16			ゴールド針 11~14		9~14			16~18	

注記：1. 上の表を参考にして正しい針と糸を選択してください。
2. 上糸と下糸は同じ物を使用してください。

ぬい方早見表

模様の種類	直線		三重ぬい	ジグザグ			裁ち目かがり		まつりぬい	直線	ボタン穴かがり
模様番号	1	2	3	4	5	6	9	8	7	2	a→b→c→d
選択模様											
押え記号											
主な用途	薄地・ステッチ	普通地・厚地	強力地ぬい 飾りぬい	その他 裁ち目かがり アップリケ パッチワーク			(のびる布地) 裁ち目かがり		まつりぬい	その他 ピンタック おとしミシン ファスナー付け	ボタン穴かがり
ぬい目の長さ調節ダイヤル	★			★			★		★	★	★

★…調節することができます。

▲ 注意



押えは各模様に適した押えを使用してください。押えをまちがえますと、針がぶつかり、折れたり、曲がったりして、けがの原因となります。

付属品

●付属品は、必ず本機専用付属品をご使用ください。

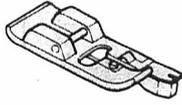
補助テーブル内に付属品が収納されています。



ジグザク押え



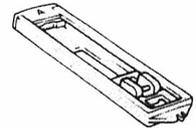
片押え



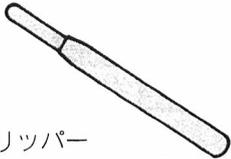
裁ち目かがり



まつりぬい押え



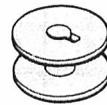
ボタン穴かがり押え



リップパー



ミシンブラシ

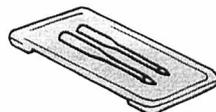


ボビン

※ボビンは必ず専用ボビンをご使用ください。
(補給コードX80309001…5個セット)



送り歯カバー



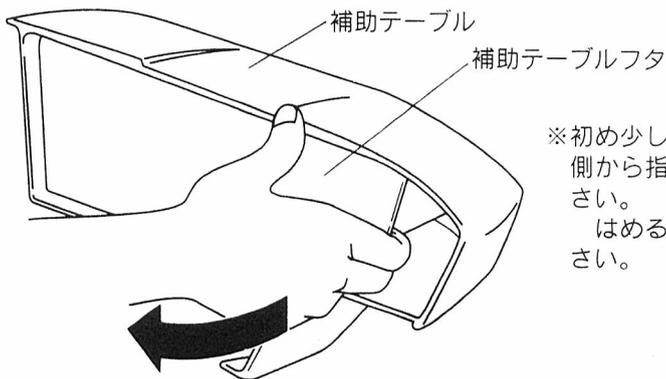
ミシン針



糸こま押え (大)

※糸こま押え (小) はミシンの糸たて棒についています。糸こまの大きさに合わせてお使いください。

※ジグザグ押えは最初にミシンにとりつけてあります。

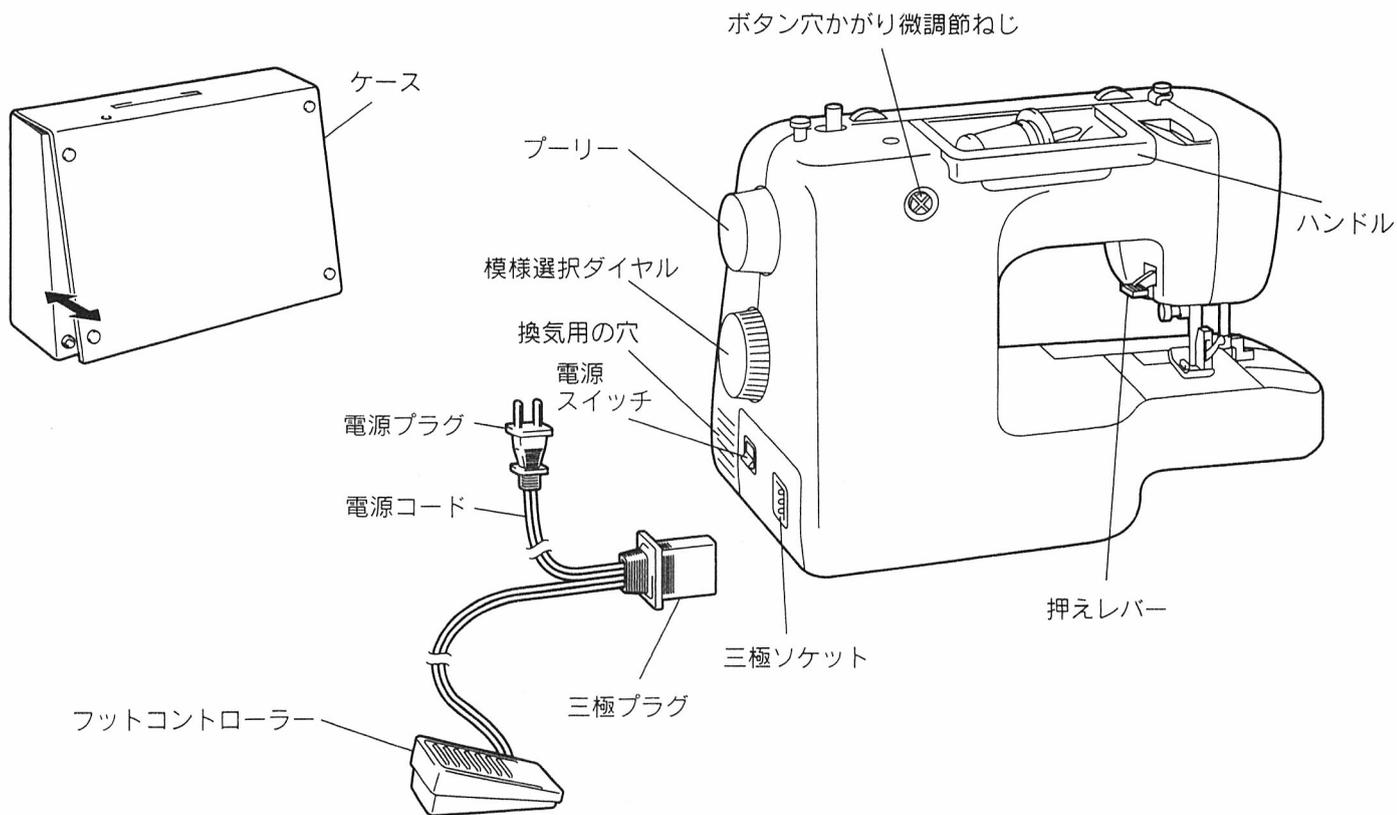
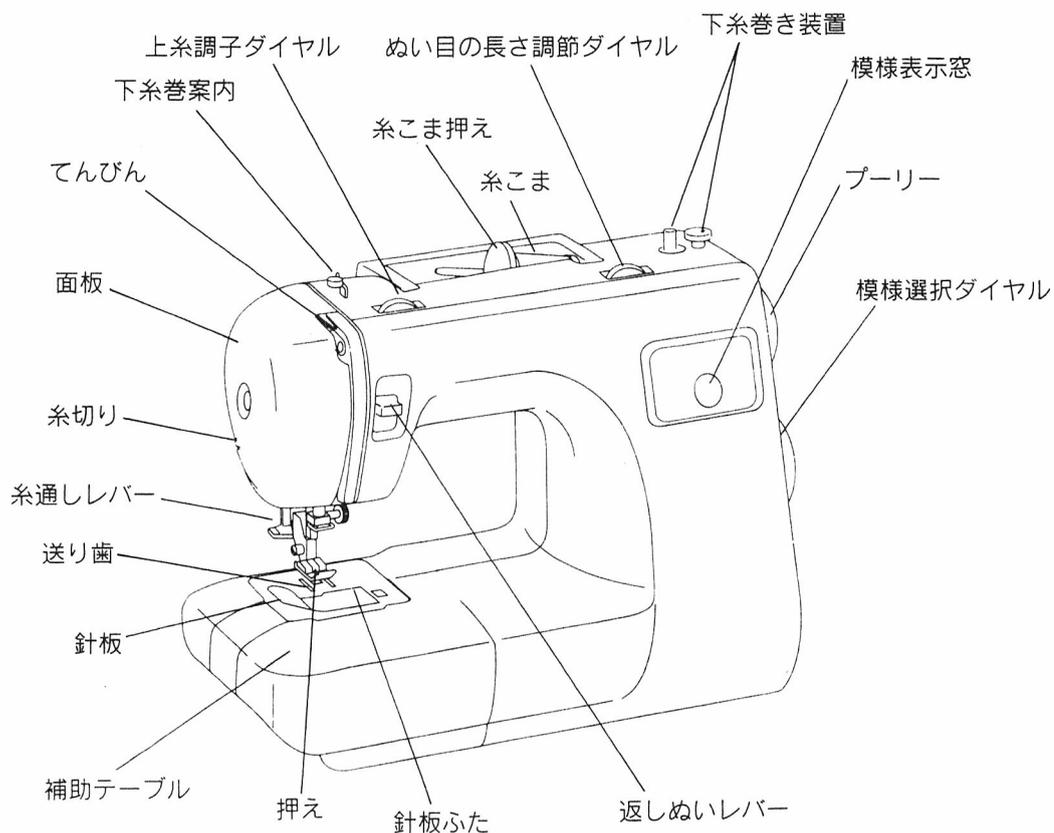


※初め少しかたいですが、図のように右側から指を入れて手前にはずしてください。
はめるときは、左側からはめてください。

■仕様表

項目	仕様
本体寸法	幅40.4×高さ27.8×奥行17.8(cm)
ケースセット寸法	幅41.9×高さ28.1×奥行19.4(cm)
重量	7kg(ケース付7.6kg)
ぬい速度(最高)	毎分900針(50Hz) 毎分800針(60Hz)
使用ミシン針	家庭用ミシン針(HAX1)
定格電圧/消費電力	100V/75W 50/60Hz
ランプ消費電力	100V/15W

各部の名称



※取扱説明書上の図は現物と多少異なることがあります。

めう前の知識

■ 電源コード

▲ 警告



一般家庭用電源AC100V電源以外では、絶対に使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。



以下のようなときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。



- ・ミシンのそばを離れるとき
- ・ミシンを使用したあと
- ・運転中に停電したとき

▲ 注意

延長コードや分岐コンセントを使用したたご足配線はしないでください。
火災・感電の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

電源プラグを抜くときは、まず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分をもって抜いてください。
電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

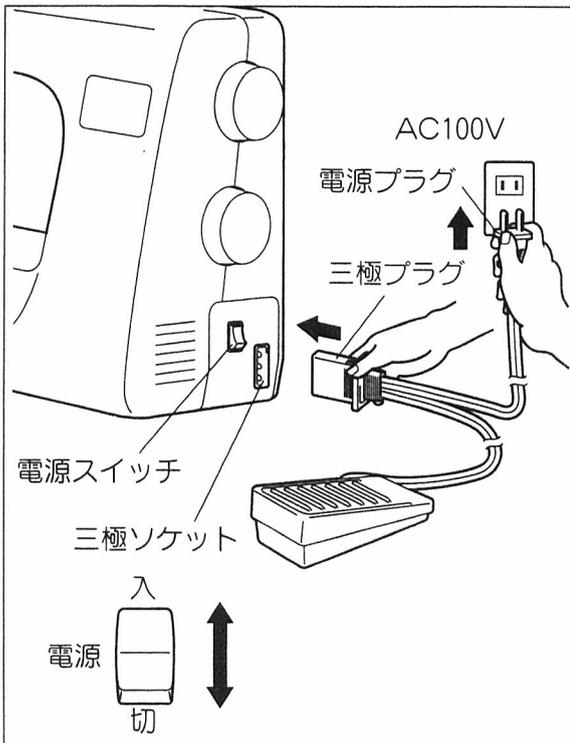


電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



電源コードまたは電源プラグが破損したときは、ミシンの使用をやめてお近くの販売店または、ブラザーのサービスステーションにて修理をお受けください。

長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となります。



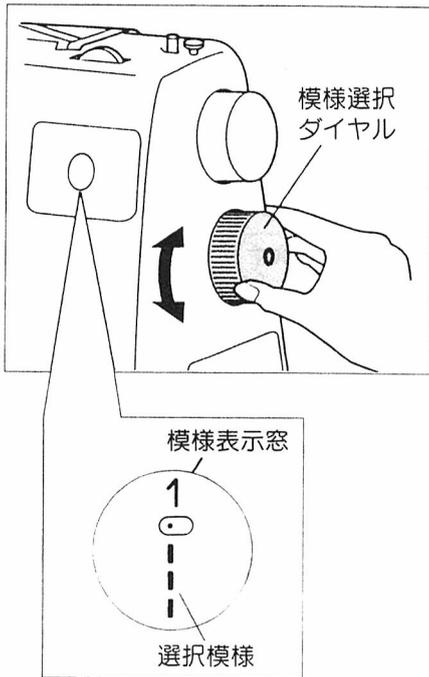
1. 三極プラグを三極ソケットに、電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
2. 電源スイッチを「入」の方に押ししてください。
電源が入り、ランプもつきます。
3. 電源を切るときは、電源スイッチを「切」の方に押ししてください。

■ 模様選択ダイヤル

▲ 注意

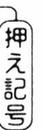
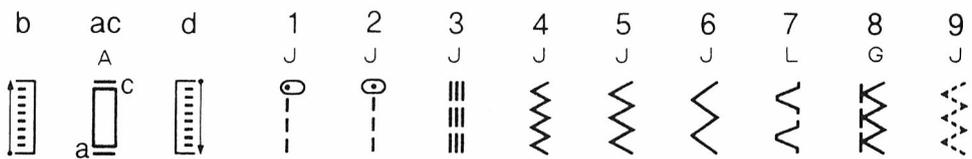


模様選択ダイヤルは、必ず針が布地から上がっていることを確認してから回してください。針が布地に刺さったまま、およびミシンが動いているときに模様選択しますと、針が曲がったり、折れたりしてけがをする原因となります。

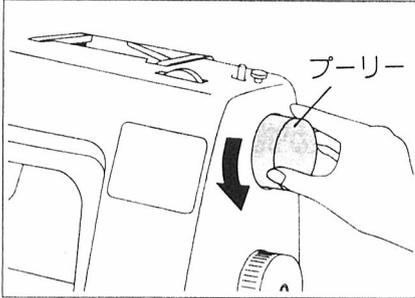


- 模様選択ダイヤルを回して、使用したい模様番号を模様表示窓に表示してください。

模様番号 →



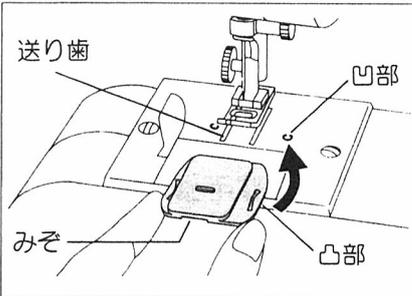
■ プーリー



プーリーを回すと、針が上下します。

● プーリーは、必ず手前側に回してください。

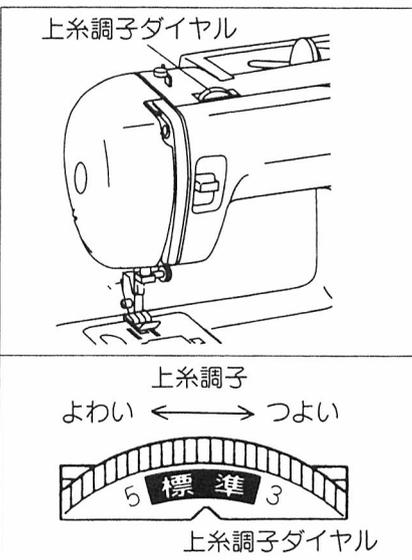
■ 送り歯カバー



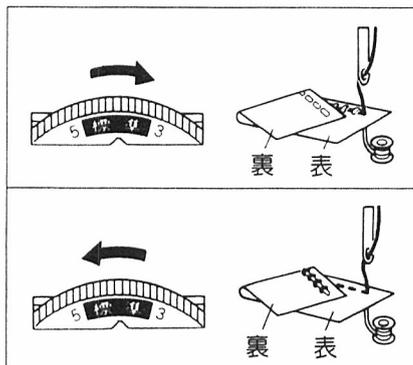
凹部と凸部を合わせます。取りはずすときは、みぞにつめをあて、はね上げてください。

※ボタン付けなどのときに使ってください。

■ 上糸調子ダイヤル



糸調子ダイヤルは「標準」の位置が目安となりますが、正しい糸調子を得るために、実際にお使いになる生地の手切れで試し縫いをして、糸調子を調節してください。



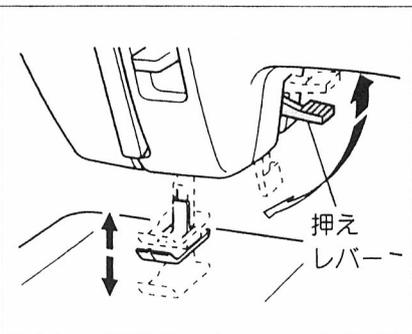
■ 上糸を強くしたい場合

上糸調子ダイヤルを右に回します。上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。

■ 上糸を弱くしたい場合

上糸調子ダイヤルを左に回します。上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。

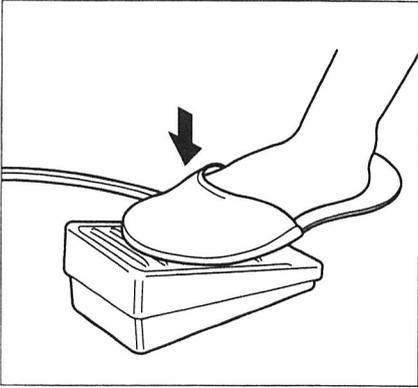
■ 押えレバー



レバーを下げると押えが下がり、布地を押えます。

厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げて入れます。

■ 速度調節

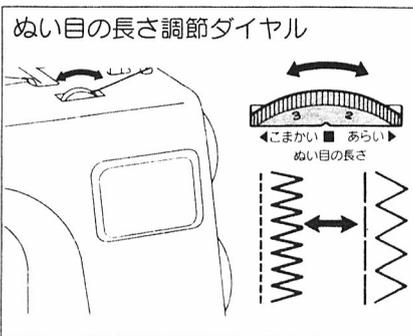


▲ 注意

- ⊘ フットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火災・感電の原因となります。
- ⚠ フットコントローラーの上に物を置かないでください。けが、故障の原因となります。

図のようにフットコントローラーに足を乗せ、ゆっくり踏み込んでください。ミシンが動きます。
踏み込む力を強めると、速度が上がって行きます。足を離すとミシンは停止します。

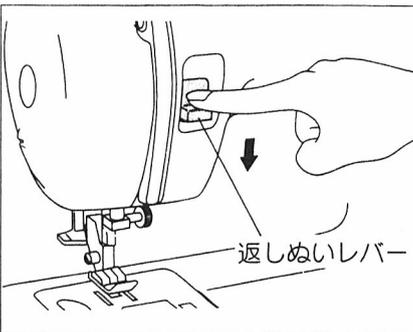
■ ぬい目の長さ調節ダイヤル



1針1針のぬい目の長さを変化させることができます。

- 選んだ模様によっては調節できません。(P2ぬい方早見表参照)

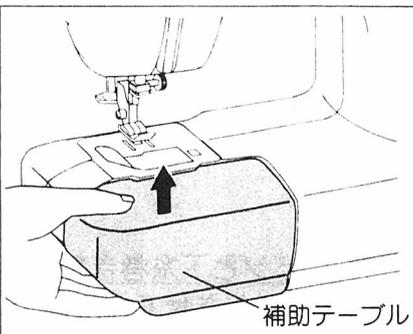
■ 返しぬいレバー



レバーを下げている間は返しぬいを行います。

返しぬいは、戻りぬいやぬい目を補強する場合に使ってください。

■ フリーアームにするには



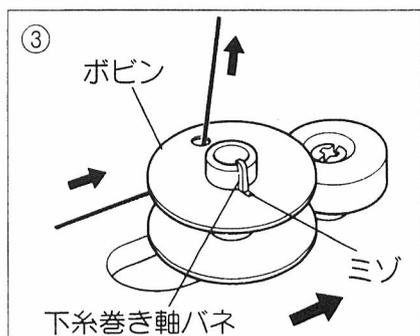
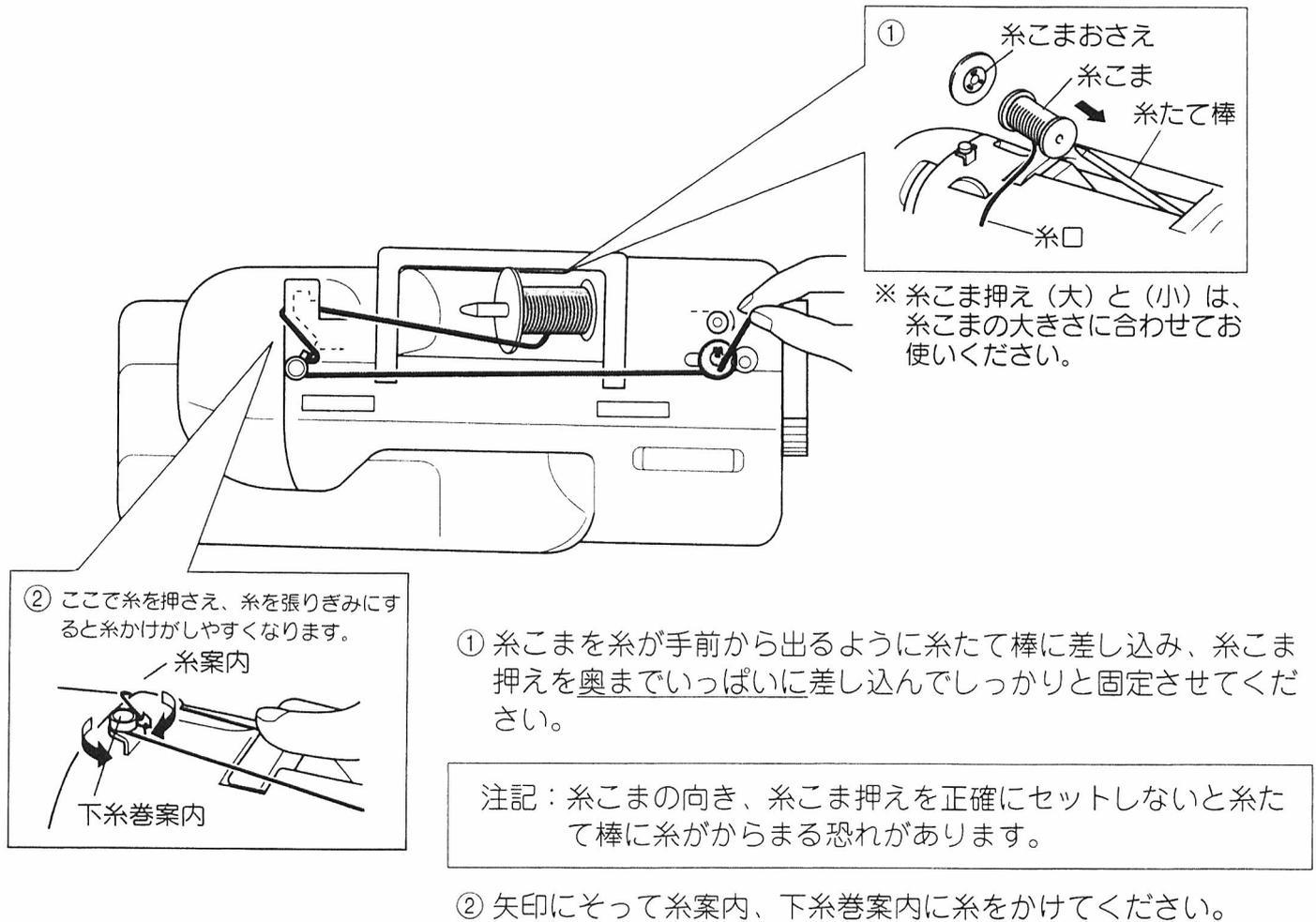
補助テーブルを上げ、取り外しますと、フリーアームになります。
筒状の物や、手が届きにくいところをぬうときは、フリーアームにすると便利です。

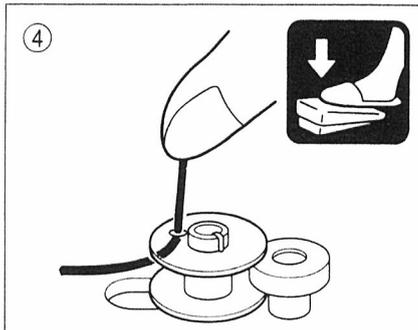
糸の通し方

■ ボビンの下糸巻き

▲ 注意

❗ 必ず専用ボビン (X80309-001) をご使用ください。けが、故障の原因となります。



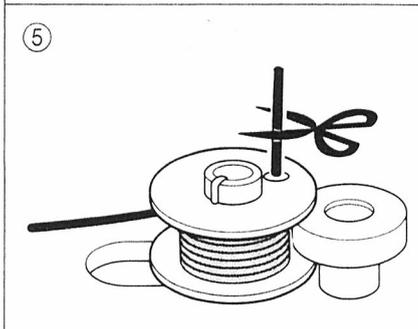


④ 糸端を持ってコントローラーを踏み込んでください。

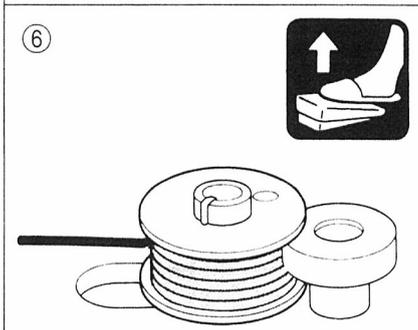
▲ 注意



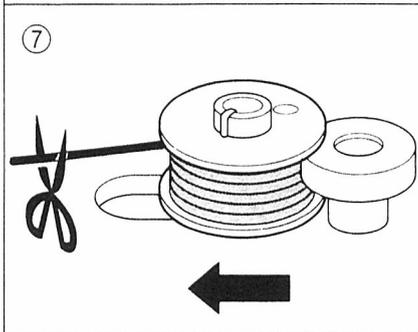
● 糸は少し長めに引き出し、まっすぐ上に伸ばして持ってください。糸が短かったり、たるんでいたたり、斜めに持っていたりすると、糸がボビンに巻き込まれ、けがの原因となります。



⑤ 少し巻いたら、(持っている糸が巻き糸で保持されるまで) ミシンをいったん止めて糸端をボビンの外に出ないように切り、再びコントローラーを踏み込んでください。



⑥ ボビンに糸が一杯に巻かれるとボビンの回転は止まります。巻き終わったらコントローラーから足を離してミシンを止めてください。



⑦ 糸を切り、ボビンを左側に戻して取りはずしてください。

注記：下糸巻きをしたあと、次にミシンを運転するか、またはプーリーを手回しするとき、初めにクラッチのつながる音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承ください。

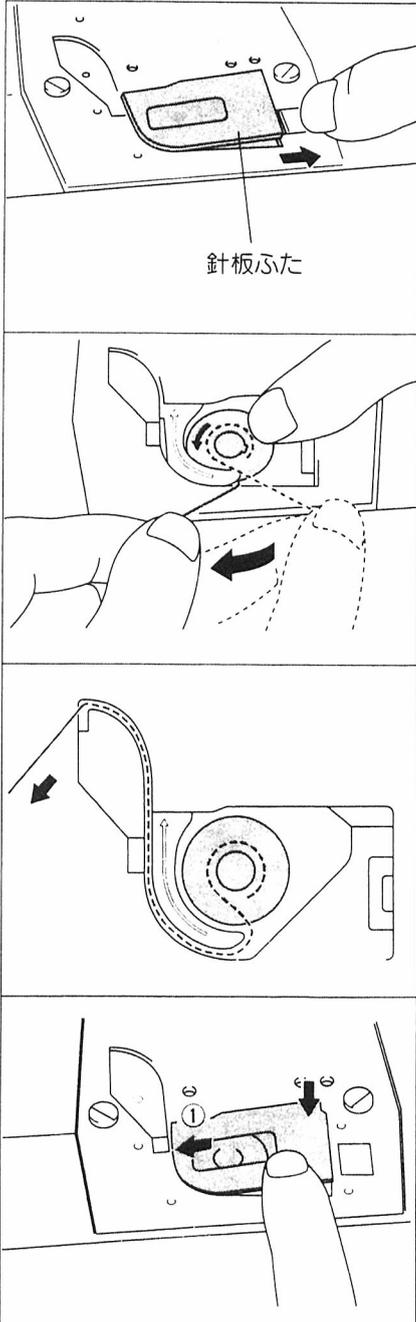
■ 下糸のセット

※下糸を引き出す必要はありません。

▲ 注意



必ず、電源を切ってから行ってください。万一、フットコントローラーが踏まれるとミシンが作動してけがの原因となります。



1. 針板ふたの横のつまみを右に押し、針板ふたを外してください。

2. 矢印の向きから糸が出るようにボビンをセットしてください。
※専用ボビンをお使いください。

▲ 注意



● ボビンは必ず正しい方向から糸が出るようにセットしてください。万一、ボビンを逆の方向にセットしますと糸調子不良になり、針が折れてけがをする原因となります。

3. 糸端を持ち、みぞにそって通し、手前に引いてください。カッターで糸が切れます。

4. 針板ふたをセットします。
※下糸を引き上げなくてもそのままぬうことができます。

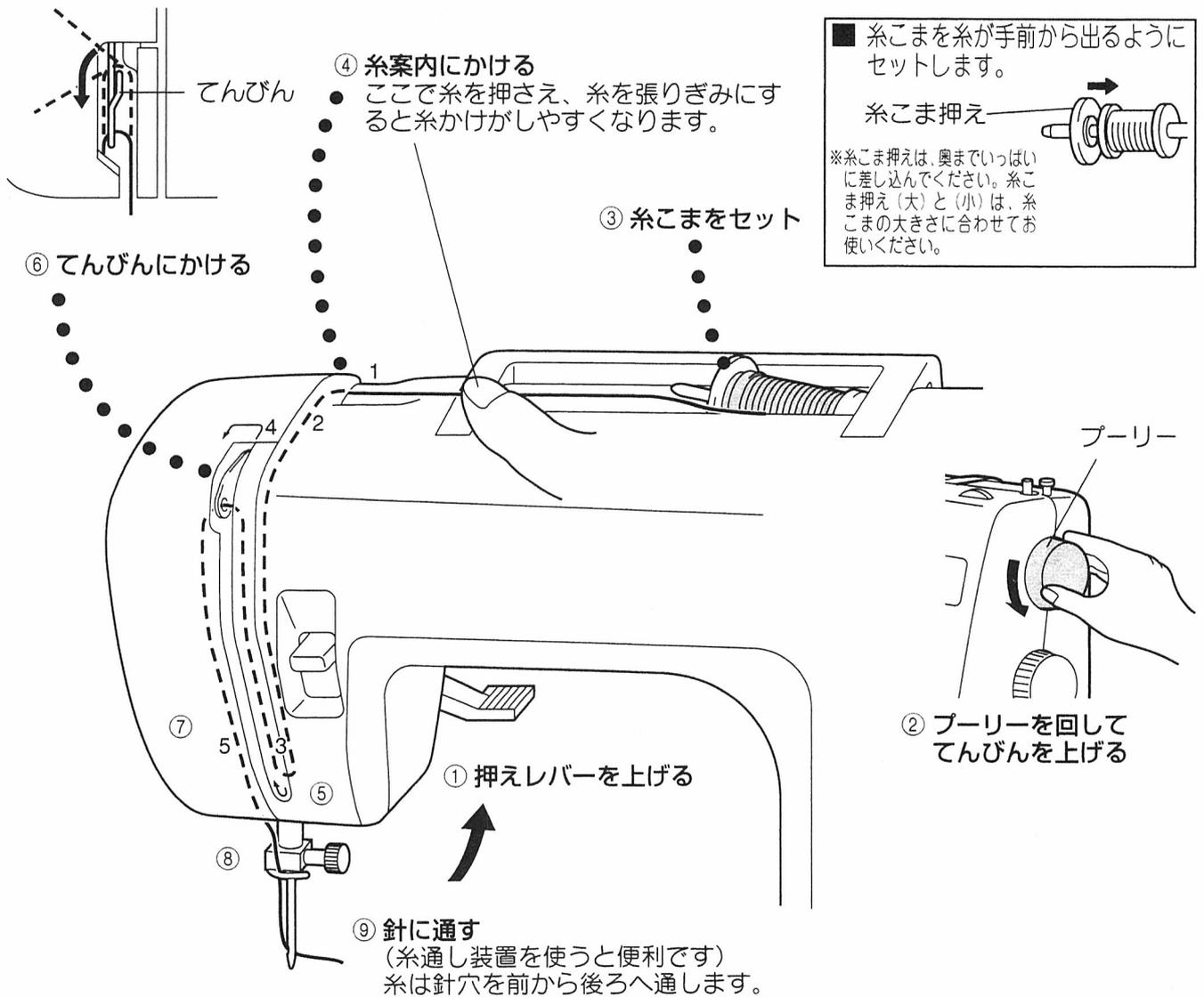
■ 上糸のかけ方

▲ 注意



必ず、電源を切ってから行ってください。万一、フットコントローラーが踏まれるとミシンが作動してけがの原因となります。

上糸通しは指示に従って正しく行ってください。糸が正しく通っていない場合、糸が絡んで針が折れけがの原因となる恐れがあります。

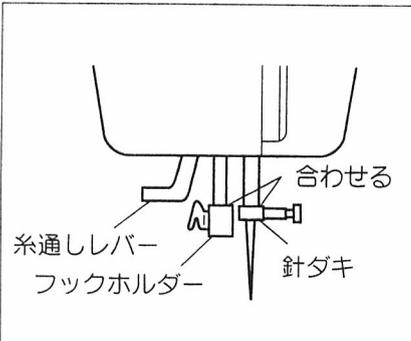


注記：①をしないと⑤のミソ内部の皿が開じてしまい、糸が正しく入らず糸がらみの原因となります。

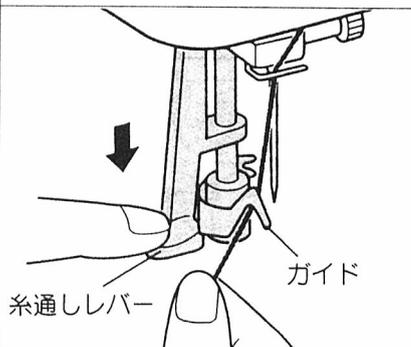
■ 糸通し装置の使い方

▲ 注意

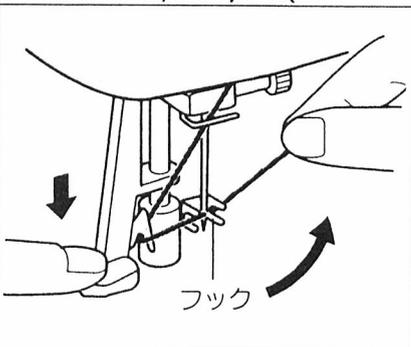
! 必ず、電源を切ってから行ってください。万一、フットコントローラーが踏まれるとミシンが作動してけがの原因となります。



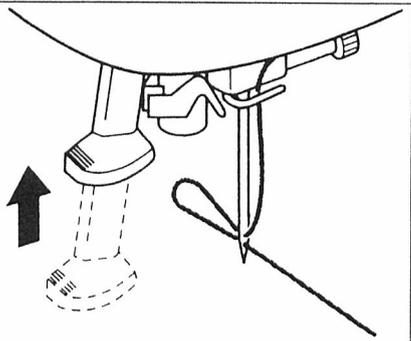
1. 押えレバーを下げてください。
2. プーリーを手前に回転させ、針ダキの上面とフックホルダーの上面の高さを合わせます。



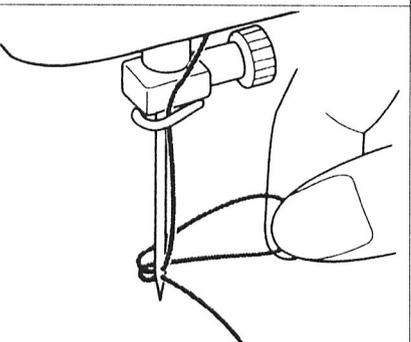
3. 糸を右手で持って左の方にピンと張り糸通しレバーを下げてガイドに糸をかけてください。



4. 糸通しレバーをいっぱい下げ、糸をフックにかけてください。
● 糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。



5. 糸をかるく持ちながら糸通しレバーを上げます。
フックが糸を針穴に通します。



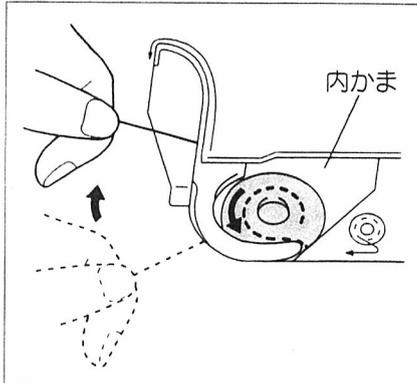
6. 通した糸を後ろ側へ10cmほど引き出しておいてください。
※無理に引っ張って針を曲げないように注意してください。
● 糸通し装置は針11～16番の範囲でご使用ください。なお、針と糸の適正な組み合わせは早見表 (P2) を参照してください。また、ナイロン透明糸は上記に関係なく、針14～16番の範囲内でご使用ください。

■ 手動で下糸を引き出す場合

▲ 注意



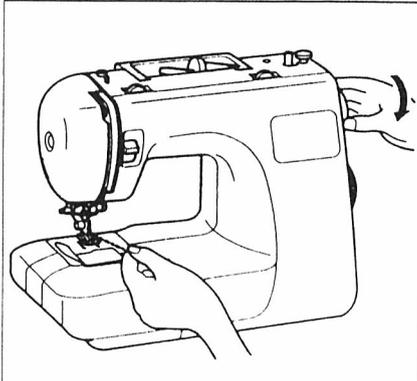
必ず、電源を切ってから行ってください。万一、フットコントローラーが踏まれるとミシンが作動してけがの原因となります。



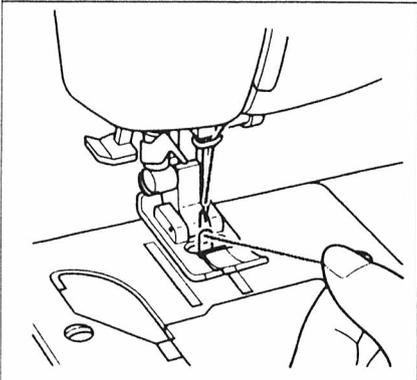
ギャザーやダーツなど、あらかじめ下糸を余分に引き出しておきたいときは、手動で下糸を引き出してください。

1. 糸を矢印のようにみぞにそって通し、糸は切らずにおいてください。

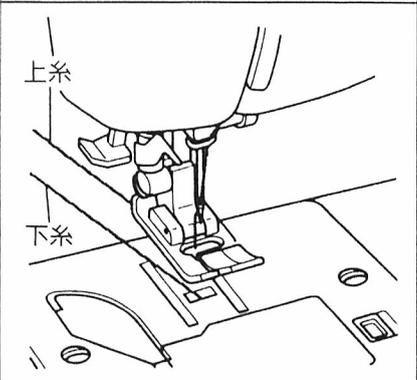
※針板ふたは、はずしたままにしておきます。



2. 上糸をかるく持ち、プーリーを手前にゆっくり1回転させ、針を上げてください。



3. 上糸を引き上げて下糸を引っ張り出してください。



4. 上糸・下糸を10cmほど出しておいてください。

上糸・下糸を押えの下にして後ろへそろえて出します。

※始めのセット状態では、上糸のみ引き出せばぬい始めることができます。

ぬってみましょう

■ 基本操作

▲ 注意

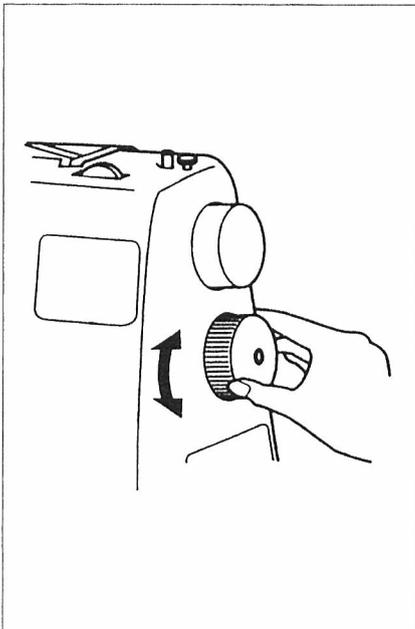


ミシンの操作中は、針の動きに十分注意を払ってください。また、針、プーリー、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。けがの原因となります。

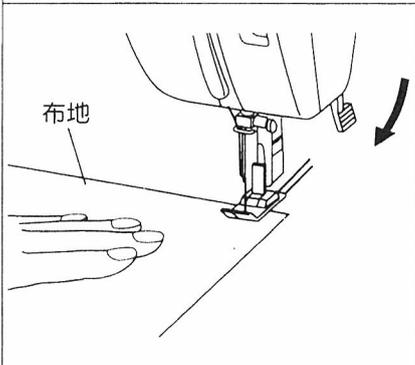
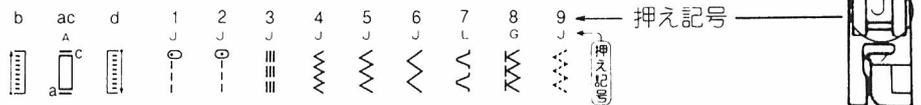
縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。けがの原因となります。

曲がった針は絶対に使用しないでください。針が折れてけがをする原因となります。

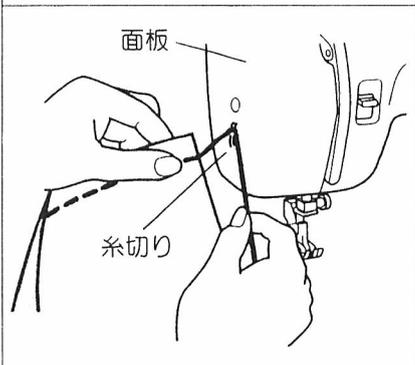
押えは各模様に適した押えを使用してください。押えをまちがえますと、針がぶつかり、折れたり、曲がったりしてけがの原因となります。



1. 電源を入れ、針と押えを上げてください。
2. 模様選択ダイヤルで模様を指定してください。
3. 指定した模様に合わせて、押えを付け替えてください。
(P17「押えの付け替え方」P2「ぬい方早見表」参照)



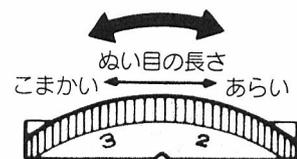
4. 上糸と布地を押えの下に入れ、押えを下げてください。
5. 手を布地にかかるく添え、コントローラーを徐々に踏み込みスタートしてください。
6. ぬい終りに近づいたらスピードをおとしてストップしてください。
7. 針と押えを上げ、布地を取り出してください。
※針はてんびんが上の位置まで上げてください。



8. 上下2本の糸を面板の糸切りにかけて、下に引っ張り糸を切ってください。

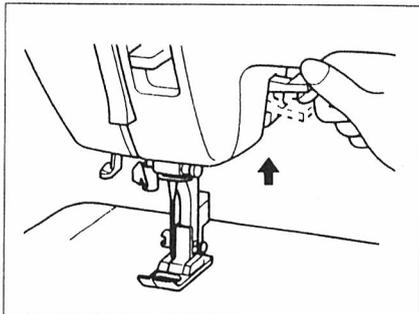
■ ぬい目の長さ調節

選んだ模様によっては、ぬい目の長さは調節できません。

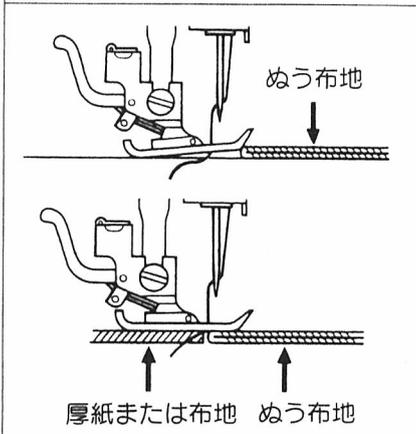


■ ジグザグの振り幅は自動的に設定されますので調節することはできません。

● 厚地のぬい方

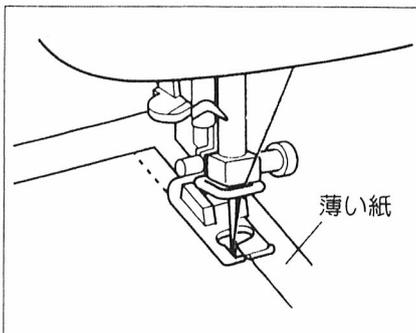


押えレバーをさらに上げると、押えがもう一段上がり、布地が入れやすくなります。



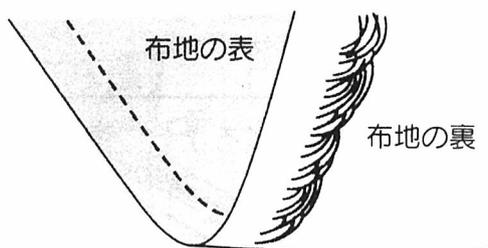
左図のように、押えが傾いて布地がスムーズに送られないときは、使用する布地と同じ厚さの布地または厚紙をおいてぬいます。

● 薄地のぬい方



布地の下に薄い紙をしいてぬいます。

■ 布地の裏側がタオル地のようなものは…



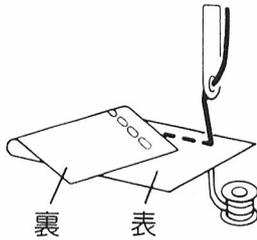
図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようなときは、上糸のかけ方P12をごらんの上、正しくかけ直してください。また上糸調子の調節のしかたはP17をごらんください。

■ 糸調子

※糸調子ダイヤルは「標準」の位置が目安となりますが、正しい糸調子を得るために、実際にお使いになる生地の手切れで試し縫いをして、糸調子を調節してください。

■ 正しい糸調子

上糸と下糸の交差が布地と布地の間にできます。



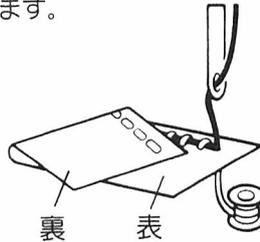
■ 上糸を強くしたい場合

上糸調子ダイヤルを右に回します。



※数字を大きくします。

上糸と下糸の重なりが上（表）にできます。



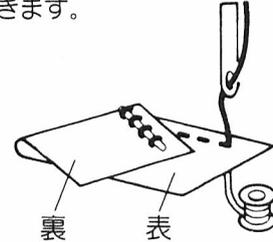
■ 上糸を弱くしたい場合

上糸調子ダイヤルを左に回します。



※数字を小さくします。

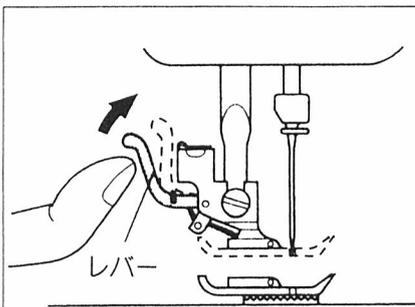
上糸と下糸の重なりが下（裏）にできます。



■ 押えの付け替え方

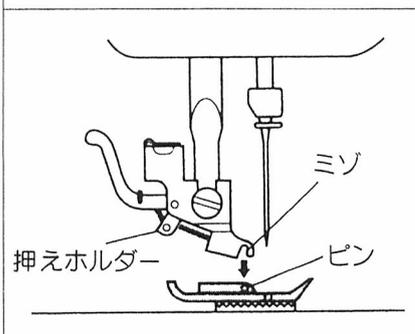
▲ 警告

必ず、電源を切ってから行ってください。万一、フットコントローラーが踏まれるとミシンが作動してけがの原因となります。



取りはずし方

押えを上げ、押えホルダーのレバーを押してください。



取り付け方

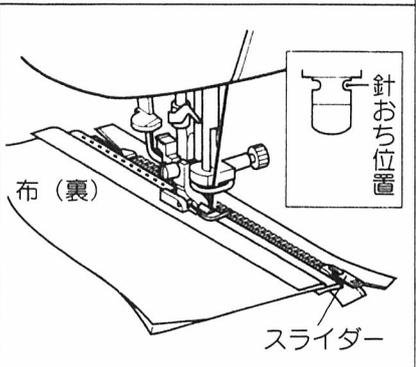
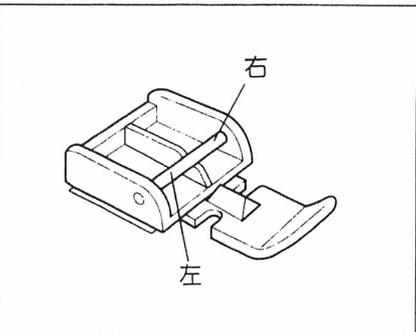
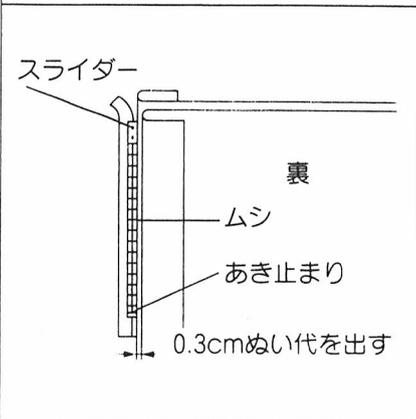
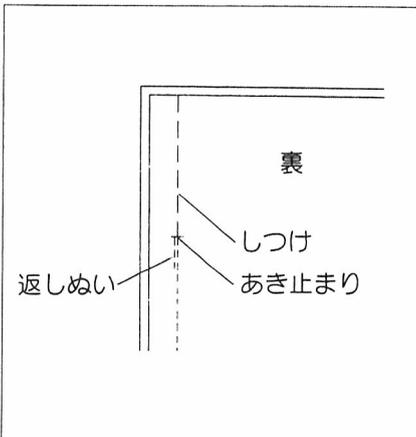
押えホルダーのミソの真下に押えのピンがくるように置き、押えを下げてください。

※押えは各模様に適した押えを使用してください。
(P2「ぬい方早見表」参照)

■ 片押えの使い方（ファスナーつけ）

● 脇あき

準備：<J>押えを取り付け、布地を中表に合わせてあき止まりでは地ぬいをし、あきの部分にはしつけをしておいてください。

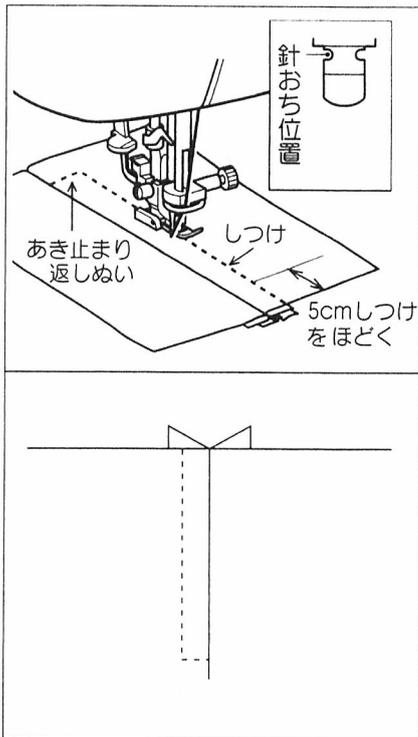


1. ぬい代を割り、後ろスカートのぬい代を0.3cm出して折り山をファスナーのムシのきわに合わせてください。

● <1>押えに付け替え、模様番号<2>を指定します。

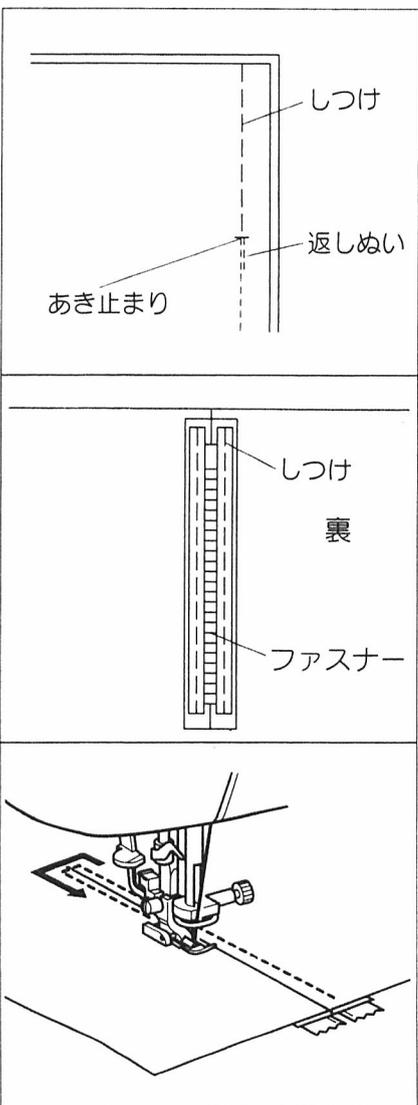
2
J
○
|

2. <1>押えの右側を押えホルダーに取り付けて、打ち合わせの下になる方をファスナーの下方から上方にぬってください。ファスナーのスライダー部分は5cmほど手前でミシンを止め、スライダーを押えの後方へ下げて端までぬいつけてください。



3. ファスナーを開じて上布をファスナーの上にかぶせてしつけをしてください。
 押えの左側に押えホルダーを付けかえ、あき止まりの返しぬいをして、図のようにぬいます。
 スライダーの部分は、5cmほど手前でミシンを止めてください。
4. 針を落として押えを上げ、あきの部分のしつけ糸をほどいてください。
5. スライダーを下げて、残りをぬってください。

● つき合わせ



準備：<J>押えを取り付け、布地を中表に合わせてあき止まりまでは地ぬいをし、あきの部分（ファスナーを取り付けるところ）にはしつけをしておいてください。

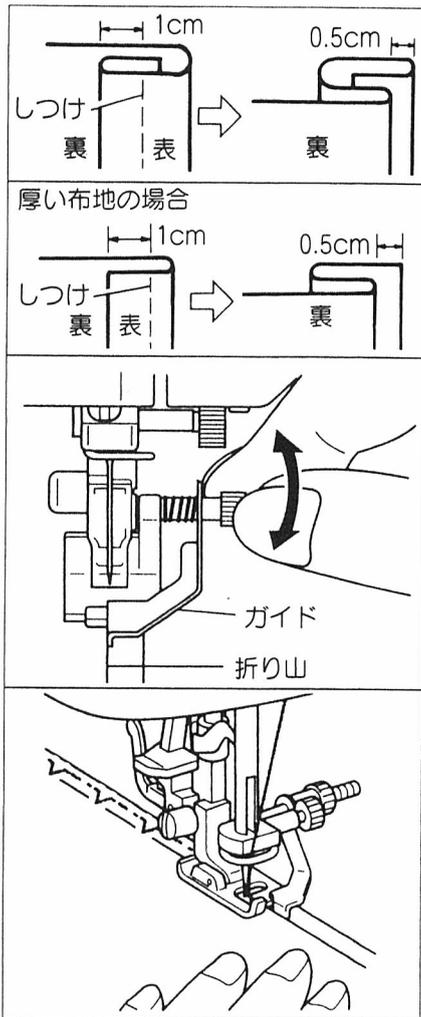
1. ぬい代を割り、ぬい目にファスナーの中央を合わせてしつけをしてください。

● <1>押えに付け替え、模様番号<2>を指定します。

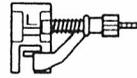
2
J
○
- - -
-

2. <1>押えのピンの右側を押えホルダーに取り付け、表からステッチをかけてしつけを取ってください。

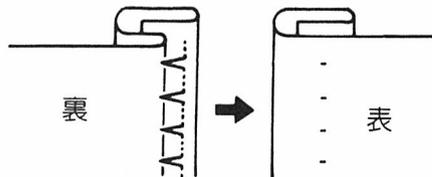
■ まつりぬい押えの使い方



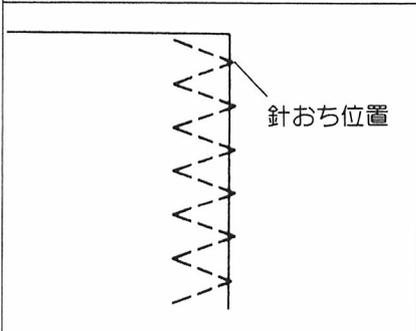
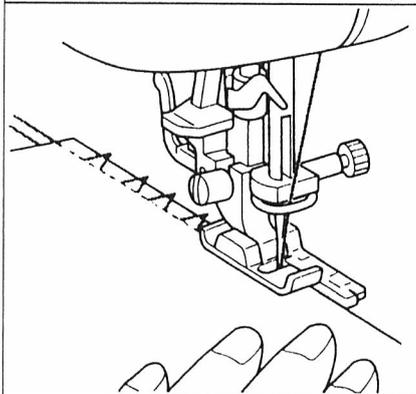
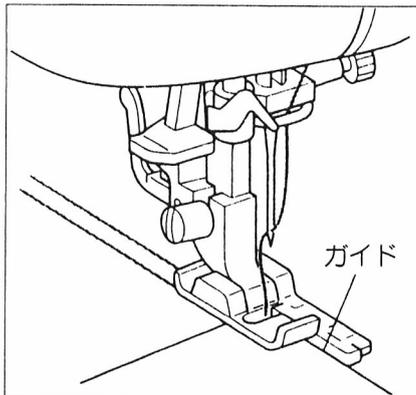
● <L>押えに付け替え、模様番号<7>を指定します。



1. 布地を左図のように折ってください。
※しつけをしっかりしてください。
2. 左の針おちがわずかに折り山にかかるように、布地をセットしてください。
3. 折り山にガイドを合わせてください。
※<L>押えのツマミを回して、折り山に押えのガイドがピッタリあたるように調節してください。
4. ぬい始めたら、折り山ガイドに合うように手を添えてください。
5. 表に返します。



■ 裁ち目かがり押えの使い方



● <G>押えに付け替え、模様番号<8>を指定します。

8
G
▼▼▼



1. 押えのガイドに布端が合うように布地をセットします。
2. ぬい始めたら、布端がガイドに合うように手を添えます。

● 裁ち目かがりのぬい上がりは、素材により上糸と下糸の重なりがわずかに下（裏）に出る場合があります。

※模様番号<4>のときは、<J>押えを使い、裁ち目かがり押え<G>は使わないでください。

■ のびる布地の場合は

必ず<J>押えに付け替えてください。

布地は針が布端より
少し外側におちるよ
うにセットします。

9
J
▼▼▼

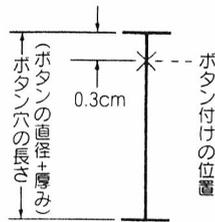


■ ボタン穴かがり押えの使い方

※ぬうときには、必ずぬうものと同じ布地で試しぬいをしてからぬってください。

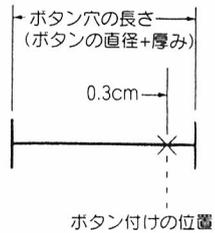
■ たてのボタン穴かがり

シャツなどの細い前立てや小さなボタンをたくさん並べてつける場合によく使われます。ボタン付けの位置より0.3cm上側からしるしを付けてください。



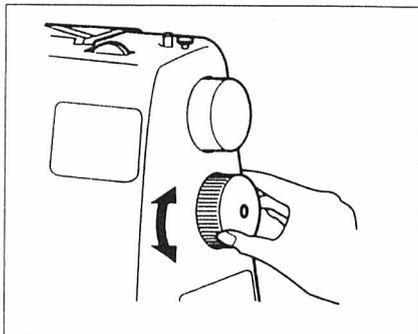
■ 横のボタン穴かがり

丈夫なので、ほとんどの服に使われます。



ボタン付けの位置より0.3cm外側からしるしを付けてください。

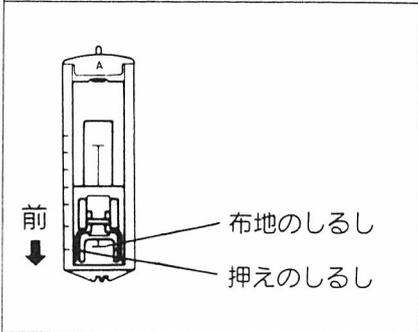
1. ボタン穴かがりをしたい位置にしるしをつけてください。



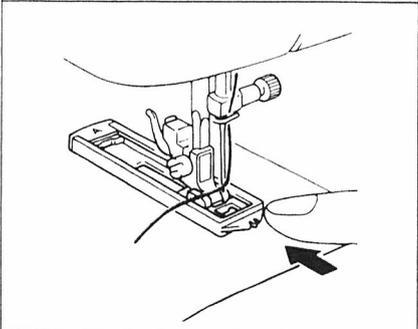
2. ボタン穴かがりは a → b → c → d の順に行いますので模様選択ダイヤルで <ac> を指定してください。

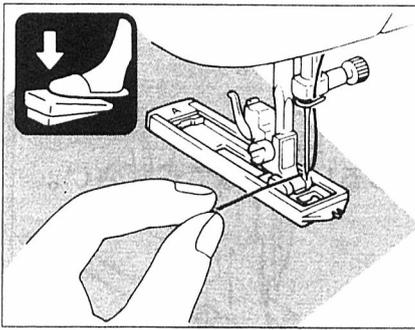
※ぬい目の長さ調節ダイヤルを <F~1> にあわせてぬいますが、布地によってはぬい目調節の必要な場合があります。

P24「ボタン穴かがりのぬい目調節」参照してください。



3. ボタン穴かがり押えをセットし布地を入れ押えを押しながら布地のしるしに押えのしるしを合わせて押えを下げてください。





4. 上糸を持ってスタートしてください。
※布地に手をはかるくそえてください。

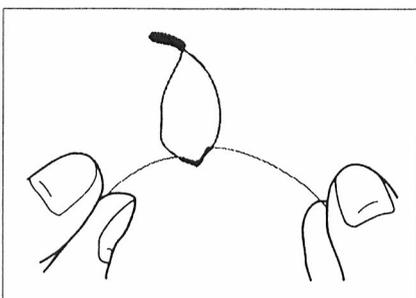
模様番号	ぬい目

5. 5~6針かん止めをし、針が左側へおちたときにストップさせてください。

6. 模様番号にセットし、しるしまでぬい、針が左側へおちたときにストップさせてください。

7. 模様番号<ac>にセットし、5~6針かん止めをし、針が右側へおちたときにストップさせてください。

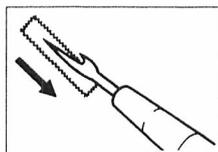
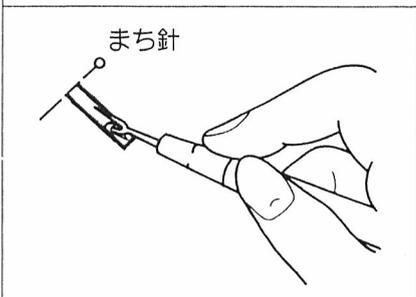
8. 模様番号<d>にセットし、しるしまでぬい、針が右側へおちたときにストップさせてください。



9. 糸を少し長めに切ります。

10. ぬい目のほつれを防ぐため、上糸の端を布地裏に出し、下糸と結んでおいてください。

11. かんぬきの内側にまち針をうち、リッパーで糸を切らないように切り開いてください。



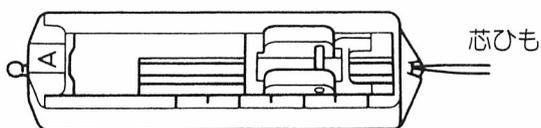
リッパーの背で切りみぞにスジをつけてからリッパーで切り開くと切りやすくなります。

▲ 注意



リッパーで穴を開けるときの、リッパーの先方に手や指を置かないでください。すべったときにけがをする原因となります。

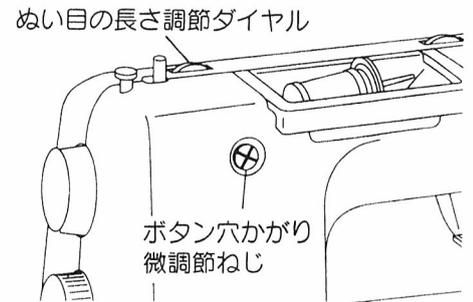
● のびる布地の場合



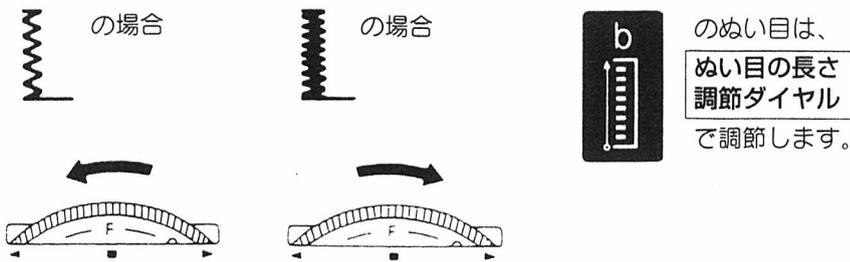
のびる布地にボタン穴かがりをするときは、ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。芯ひもはゆるまない程度に、手前をはかるく結んでください。ぬい方は芯ひもなしの場合と同じです。

● ボタン穴かがりのぬい目調節

1. ぬい目の長さ調節ダイヤルを<F~1>に合わせ、模様をぬいます。



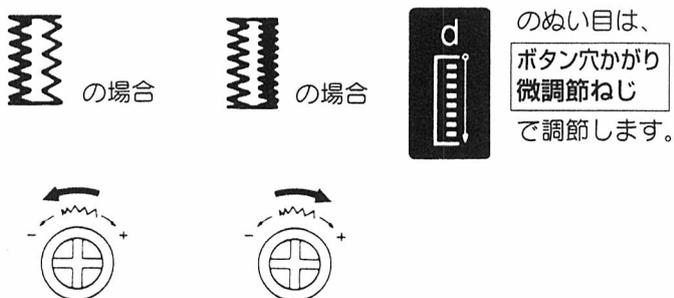
2. ぬい目の長さ調節ダイヤルを回し調節します。



3. 模様<d>をぬいます。



4. のぬい目と比べ、<d>のぬい目の長さが合わないときは、ボタン穴かがり微調節ねじを回して調節します。

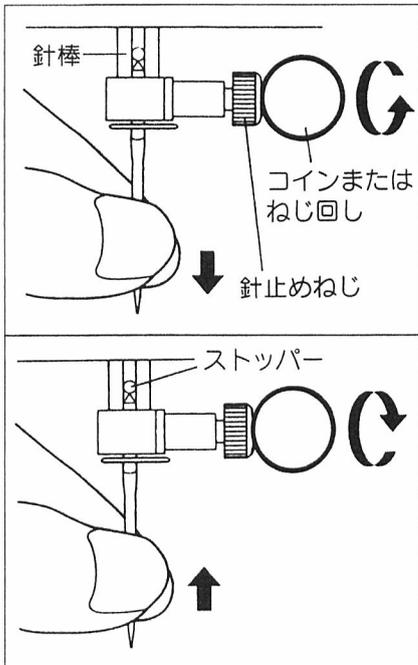


ミシンを大切に

■ 針の交換

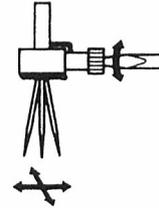
▲ 注意

- ❗ 必ず、電源を切ってから行ってください。万一、フットコントローラーが踏まれるとミシンが作動してけがの原因となります。
- ⊘ 曲がった針は絶対に使用しないでください。針が折れてけがの原因となります。

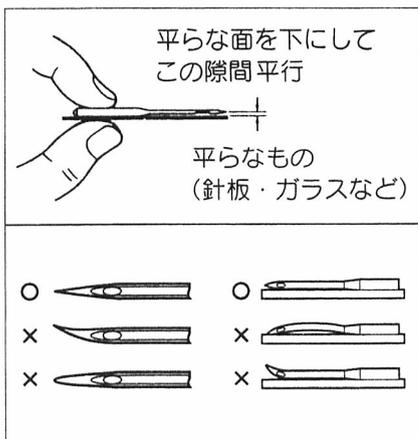


1. 電源を切り、針を上げ、押えを下げてください。
2. 針止めねじをゆるめて針を抜いてください。

注記：針止めねじをゆるめたり締めたりするときは、針棒を前後・左右に大きな力を加えないでください。故障の原因となります。



3. 新しい針の平らな面をうしろ側にしてストップパーにあたるまで差し込み、針止めねじをしっかりと締めてください。



正しい針の見分け方

平らな物（針板、ガラス板など）に針の平らな面を合わせ、すき間が平行である物をご使用ください。

針先が曲がったり、つぶれているものは使用しないでください。

針は家庭用ミシン針（HAX1）をご使用ください。

■ ランプの交換

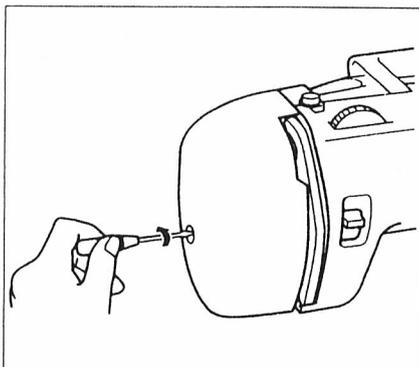
▲ 注意



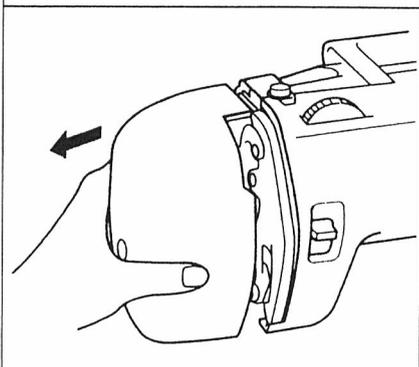
必ず、電源を切ってから行ってください。万一、フットコントローラーが踏まれるとミシンが作動してけがの原因となります。



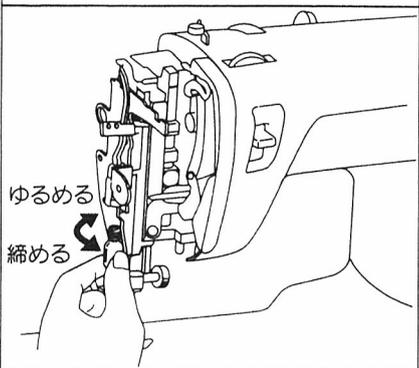
ランプが切れたときの交換はガラス部分が冷えてから行ってください。やけどの原因となります。



1. 電源を切ってください。
2. 手持ちのドライバーで面板のネジをはずしてください。



3. 面板を取りはずしてください。



4. ランプをはずして、新しいランプを取り付けてください。
5. 面板を取り付け、ネジをドライバーでしっかりしめてください。

注記：ランプは必ず専用のものをご使用ください。他のランプは絶対に使用しないでください。
ランプ（100V、12W）は最寄りのブラザー販売店でお買い求めください。
（部品コード202322-050）

■ お手入れ

● 本体表面の汚れの掃除

▲ 注意



必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがまたは感電の原因となります。

本体表面の汚れを取るときは、中性洗剤を薄めて布に浸し、固くしぼってふきとってください。
汚れを取った後は、乾いた布でふきとってください。

注記：ベンジン、シンナー、みがき粉は使用しないでください。
変色や変形の原因となります。

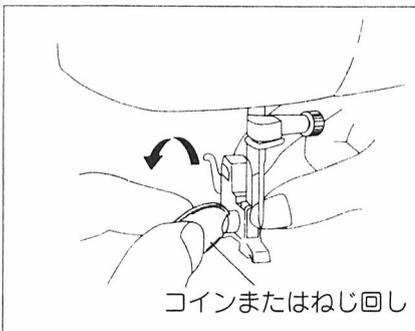
● かまの掃除

ほこりがたまると縫製不良になる場合があります。
いつもきれいにしておきましょう。

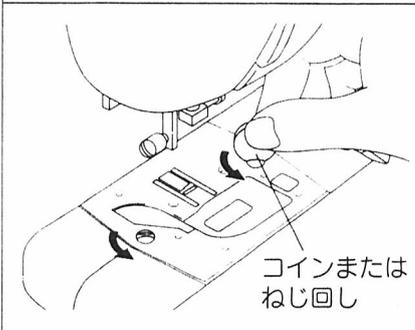
▲ 注意



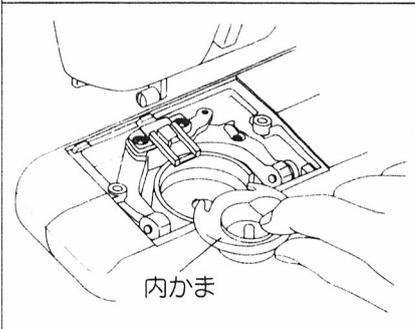
必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがまたは感電の原因となります。



コインまたはねじ回し



コインまたは
ねじ回し

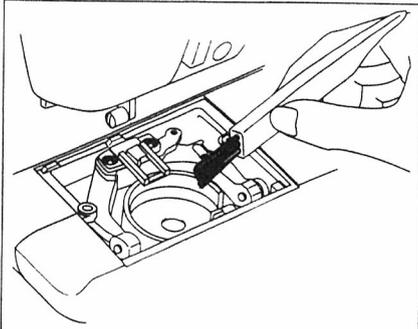


内かま

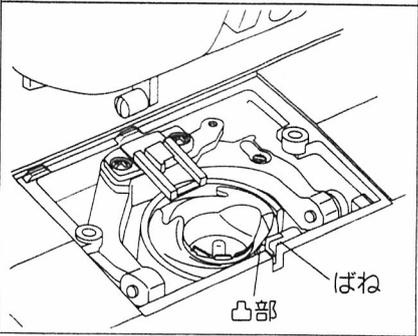
1. 電源スイッチを切り、押えホルダーと針を外してください。

2. 針板を外してください。

3. 内かまを取り出してください。



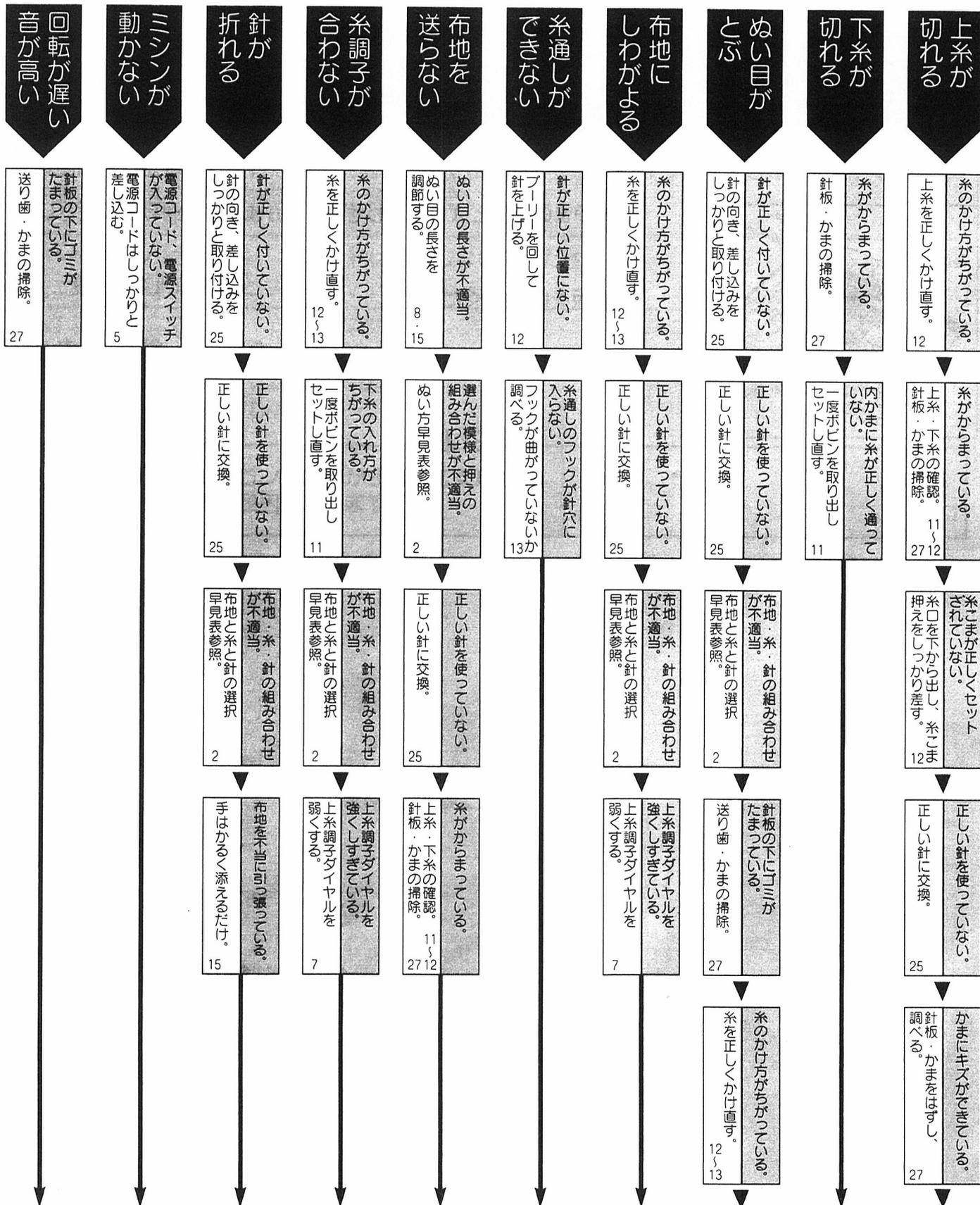
4. 付属のブラシや掃除機で外かまとその周辺の糸くずを取り除いてください。
※内かまには油をささないでください。



5. 内かまの凸部とばねを合わせて、内かまを取り付けてください。
6. 針板をはめてください。

※ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。
左下の数字はページ数です。

■トラブルチェック



●もし、それでも直らない場合は、お買い上げの販売店または最寄りのプラザー販売店にお申し付けください。

注意：運転中に停電が発生した場合
・電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
・再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください。)それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
 - ・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の〈お客様相談室〉へお問い合わせください。

お客様相談室

北海道事業所 〒060-0063 札幌市中央区南三条西3-2-2 TEL:(011)261-6631 FAX:(011)221-3974
東北事業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-3-10 TEL:(022)227-8877 FAX:(022)227-8205
東京事業所 〒104-0031 東京都中央区京橋3-3-8 TEL:(03)3281-4204 FAX:(03)3274-0546
中部事業所 〒467-0851 名古屋市瑞穂区塩入町11-5 TEL:(052)824-3193 FAX:(052)824-6193
関西事業所 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-22 TEL:(06) 252-1797 FAX:(06) 253-0664
中四国事業所 〒730-0021 広島市中区胡町4-28 TEL:(082)240-3762 FAX:(082)240-1478
九州事業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-3-12 TEL:(092)431-6566 FAX:(092)481-7268
本社お客様相談室
〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町15-1 TEL:(052)824-3125 FAX:(052)824-3031

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の〈お客様相談室〉へご連絡ください。

※上記の電話・FAX番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

取扱店

〒467-8561

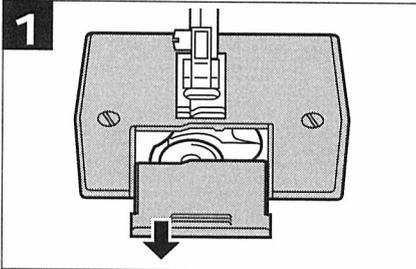
名古屋市瑞穂区苗代町15-1

114-541
191541-153
9809①

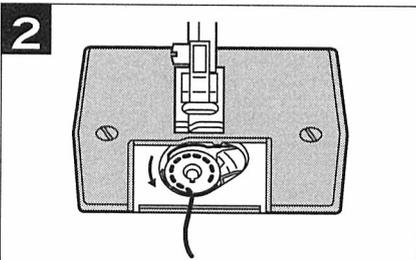
■ 下糸のセット

▲ 注意

- ❗ 必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート/ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。



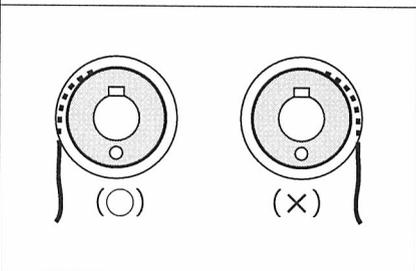
- 1 すべり板を手前（▼方向）にスライドさせ、取り外してください。



- 2 矢印の方向から糸が出るように下糸を巻いたボビンをセットします。

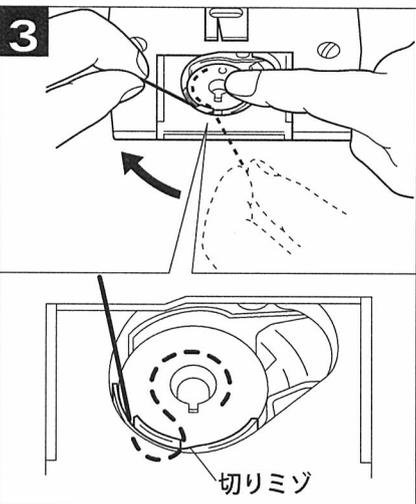
▲ 注意

- ❗ ボビンは必ず正しい方向から糸が出るようにセットしてください。ボビンを逆の方向にセットすると針折れや糸調子不良の原因となります。

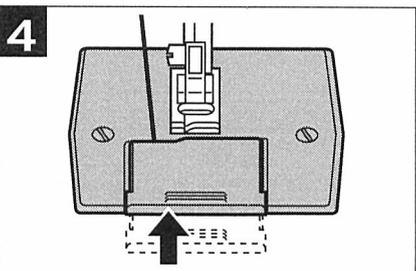


▲ 注意

- ❗ 下糸は正しく巻かれたものをご使用ください。下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。



- 3 ボビンを指先でかるく押さえて、糸端を切りミゾに引っ掛け、左から上へ持って行ってください。

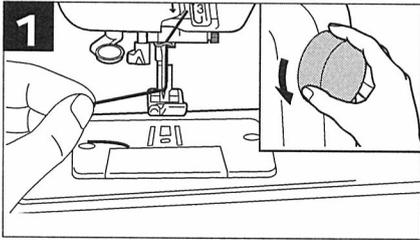


- 4 すべり板を奥（▲方向）にスライドさせ、取り付けてください。

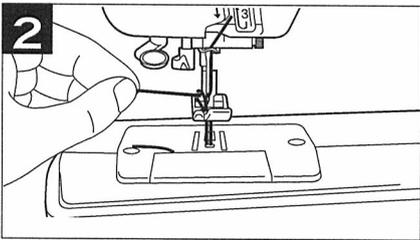
■ 下糸の引き出し方

▲ 注意

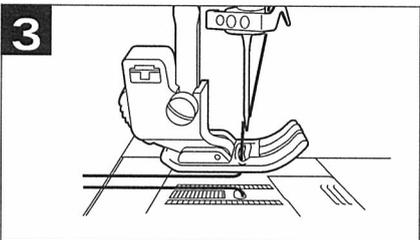
❗ 必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート/ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。



1 上糸を軽く持ち、プーリーを手前にゆっくりと1回転させ、針を上げてください。



2 上糸を引き上げて、下糸を引っ張り出してください。



3 上糸・下糸を押えの下にして後ろへ出しておきます。